【広報用資料】

　2013/05/23

膠文化研究会　第3回公開研究会

「膠温故知新」

第３回公開研究会は科学研究と修理現場からの報告です。膠についての科学的な基礎知識、その利用法の歴史に始まり、ついで今後の膠研究に貴重な視点を与え得る大胆で重厚な研究の成果報告があります。また、洋本修復に用いられる膠について聞きます。

今回は膠研究にとって重要な発表の場となるでしょう。そして、膠文化の地域的、歴史的ひろがりを感じてください。

日時：2013年6月29日（土）午後1時〜4時30分

会場：東京芸術大学美術学部中央棟第1講義室

参加費：3000円

定　員：100名（先着順）

後　援：文化財保存修復学会、国宝修理裝こう師連盟

＜研究会＞

司会：斎藤　典彦　東京芸術大学美術学部教授

プログラム：

（１）開会挨拶　13：00-13：10　荒井　経　東京芸術大学大学院美術研究科准教授

（２）「ゼラチンの温故知新」　14：40-15：20

野村義宏　東京農工大学農学部附属硬蛋白質利用研究施設教授

「膠は、プロテオグリカンなどが混入しているゼラチンが用いられている。本講演では、ゼラチンの特性を解説し、その利用法の変遷を紹介する。」

（３）「膠の製造条件と性状」　13：20-14：00

宇高健太郎　美術家・東京芸術大学大学院美術研究科専門研究員（会員）

「講演者はこれまでに約140種類の膠を製造し、原料から使用効果までを包括的・体系的に明らかにすることを目的として研究を進めてきた。本講演では膠の各種製造方法と性状の関連について論じる。」

（４）「西洋の本づくりにおける皮革と膠の利用」　14：00-14：40

岡本幸治　Atelier de Claie・洋本修復家

「西洋の伝統的本づくりに使われた羊皮紙やタンニン革などの皮革および膠の利用法と保存上の問題、羊皮紙から作る膠について。」

（５）休憩　15：20-15：45

（６）質疑応答　15：45-16：15

座長：荒井　経　東京芸術大学大学院美術研究科准教授

（７）閉会挨拶　16：15-16：25

稲葉　政満　東京芸術大学大学院美術研究科教授

＜懇親会＞　16：45

会場：大浦食堂（東京芸術大学大学美術館1階）

会費：3,500円、学生 2,000円

＜参加申込み＞

参加申込みは事前受付制です。

膠文化研究会公式サイトから参加応募様式をダウンロード、必要事項を記入の上、事務局宛メールに添付してください。参加受付確認メールをお送りしますので、期限までに参加費を指定口座に入金してください。

公式サイト：http://nikawalabs.web.fc2.com/frame.html

メール：nikawalabs@gmail.com

事前受付 　6月1日（土）〜6月22日（土）

参加費払込期限 　6月25日（火）

参加証発行開始　6月17日（月）

\*プログラムは変更になる場合があります。

＜申込み、問い合わせ先＞

問い合わせはメールでお願いします。

膠文化研究会事務局

東京芸術大学日本画研究室内

110-8714　東京都台東区上野公園12-8

メール：　nikawalabs@gmail.com

電　話：　050-5525-2135（斉藤）

膠文化研究会公式サイト　http://nikawalabs.web.fc2.com/frame.html

膠研フェースブックページ　http://www.facebook.com/NikawaLabs

膠文化研究会公式ツイッター　@NikawaLabs